

4. 二酸化硫黄 (SO₂)

平成 12 年度の二酸化硫黄の有効測定局は、1,597 局（一般局：1,501 局、自排局：96 局）であった。

長期的評価による環境基準達成率は、一般局で 94.3%、自排局で 93.8%（昨年度は、一般局で 99.7%、自排局で 100%）と近年良好な状況が続いている。

平成 12 年度に環境基準達成率が少し低下した原因は、三宅島の噴火ガスの影響と考えられる。また、二酸化硫黄の年平均値は、昭和 40、50 年代に比べ著しく減少し、近年では横這い、もしくは減少傾向にある（図 4）。

図 4 二酸化硫黄の年平均値の推移

